

令和2年度 第1回中津市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 : 令和2年6月29日(月) 10:00 ~ 12:00

場 所 : 中津市役所 3階 大会議室

出席委員 : 16名

室長 大應、今井 登美子、平田 誠、小野 政文、伊藤 勇、高山 優治、
澤村 真知子、小川 幸子、平野 京子、水谷 トシエ、溝口 聖美、於久 末
美、平山 起吉、恵上 貞之、大坪 丈二、亀井 顕史

欠席委員 : 2名

松山 義憲、菊池 徹

議 題 : 別紙議案書のとおり

事務局 開会・進行

定刻になりましたので、会議を開催いたします。皆様、おはようございます。本日は令和2年度第1回中津市廃棄物減量等推進審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。事務局を務めます、中津市環境政策課の勝見と申します。審議会開催に先立ちまして、諮問に係る手続きまで、私の方で進行を務めさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。それではお手元の次第に沿って進めてまいります。

まず開会を、生活保健部長の今富が申し上げます。

今富生活保健部長 挨拶

皆さんおはようございます。ただいま紹介いただきました、生活保健部の今富寛二と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは、ただいまより、令和2年度第1回中津市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局 進行

それでは、本日、出席していただいています、委員の皆様をご紹介させていただきます。

(出席委員及び欠席委員の紹介)

本日は、18名の委員の内16名の皆様によりご審議をいただくこととなります。どうぞよろしく願いいたします。それでは、奥塚市長より委員の皆様へご挨拶申し上げます。

奥塚市長 挨拶

皆様、おはようございます。本日は、大変お忙しい中、令和2年度第1回中津市廃棄物減量等推進審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。室長会長様をはじめ、委員の皆さま方におかれましては、廃棄物行政をはじめとした中津市政に対しまして格別のご協力を賜っております。ご理解とご協力に改めましてこの場をおかりして厚く御礼を申し上げたいと思います。さて、市ではかけがえのない地球環境と共生できる社会「環境共生都市なかつ」の実現を目指しています。平成31年3月に「中津市環境基本計画」を策定し、「国連持続可能な開発サミット」で採択をされた持続可能な開発目標である『SDGs(エス・ディー・ジーズ)』の達成を環境面から支える取組みを行っています。ごみの減量・資源化につきましても、その取組みの一環として、これまでも分別区分の見直しや、新たな資源化を行ってきました。また、ごみに関する環境問題を市民の皆さまに広く理解をしていただくことが大切だということで、リサイクルミニ集会、

環境学習のためのクリーンプラザの見学、あるいは市報での情報発信というものを行ってまいりましたが、中津市の一人あたりのごみ排出量は、大分県や全国の平均を上回っているのが現状であります。

中津市の環境を考えると、自分達の世代、私達の世代だけのものでなくて、子どもや孫へと次世代に引き継いでいくことをしっかり考えなければならないと思っております。そこで、今回、「環境共生都市なかつ」の実現に資する新たなごみ減量・資源化施策について、市民や事業者の皆さまの視点、専門的な立場などから広くご意見をいただきたく、本審議会に諮問をさせていただきたいと思います。

委員の皆さまにおかれましては、ごみ減量・資源化を通じた次世代の中津市のまちづくりに参画をいただき、活発なご議論をいただきますことを、心からお願いを申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局 進行

次に、室長会長よりご挨拶をいただきます。

室長会長 挨拶

おはようございます。室長でございます。ただいま市長からお話がありましたが、昨年度令和になりましてから、中津市廃棄物の減量と資源化を含めた審議ということで、この審議会が進んでいるところですが、昨年度末、大分市の工場見学等、審議会でも実地調査等しまして、これから中津市がどうあっていくべきかというのをいろいろ検討してきておりますが、改めて令和2年度さらにその内容を審議していきたいと思っております。よろしくご協力をお願いします。

事務局 進行

ありがとうございました。次に、諮問に移ります。奥塚市長より、室長会長へ諮問書をお渡しします。

諮問

(奥塚市長より、室長会長へ諮問書を手交)

事務局 進行

ありがとうございました。以上をもちまして諮問の手続きを終了いたします。これより議事に移ります。なお、奥塚市長につきましては、他の公務のためここで退席をさせていただきます。

(奥塚市長、退席。)

まず、委員の皆さまに事前に送付させていただきました本日の資料はお持ちでしょうか。先ほど、奥塚市長から室長会長にお渡ししました諮問書の写しをお配りしています。

これより、審議に入ります。以降の進行につきましては、室長会長にお任せいたします。それでは室長会長お願いいたします。

審議会成立(委員18名中16名出席)

(中津市廃棄物減量等推進審議会運営要綱第6条第2項に規定する過半数以上の出席を満たしており、審議会成立)

議長

おはようございます。改めましてよろしくお願い申し上げます。それでは、会を始める前に、市長の方から諮問のありました内容を確認しておきたいと思っております。(諮問書内容を一読。)これ以後、諮

問に沿った内容で審議を進めたいと思いますので、ご協力よろしく申し上げます。審議会運営要綱に基づき議長をさせていただきます。委員の皆様のご協力を頂きまして議事の進行をしていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。それでは次第に従って進めさせていただきます。初めに令和元年度第1回・第2回の審議会の内容を振り返りますので、事務局より説明をお願いします。

事務局

《 議事資料 1.令和元年度第1回・第2回審議会での審議内容について説明（P1～P4） 》

議長

事務局から説明がありましたが、令和元年度の審議会の経過を踏まえて、今年度も本審議会で「ごみ減量・資源化の推進」について、審議を進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。それでは、議事に入ります。本日の審議会に事務局から議案が提出されています。そこで、1項目ごとに審議をいたします。議事について質疑のある方は、挙手をして、氏名を言ってから、発言をされるようお願いします。それでは、議事2.中津市一般廃棄物処理基本計画の一部見直し（案）について、事務局より説明をお願いします。

事務局

《 議事資料 2.中津市一般廃棄物処理基本計画の一部見直し（案）について説明（P5） 》
（別添資料：中津市一般廃棄物処理基本計画（一部変更案）【要旨】）

議長

ありがとうございました。それでは、基本計画の一部変更案の説明について、ご質問のある委員は、質問をお願いします。平成30年度に策定した基本計画が環境省の目標数値と比べて差があるということで、目標数値の変更をしたということで、環境省の目標数値に少しでも近づくように見直しをしたということでの説明ですが、どなたか質問はありませんか。

平田委員

平成30年度の策定時に推計計算がされていると思うのですが、それはどのように活かされているのか教えていただけますか。

事務局

平成30年度4月に策定しました基本計画の推計数値は生きております。当然人口も減っていくという推計になっていまして、それによる自然減と併せて再資源化をどのように図っていくかということで計画数値を見直しています。平成30年度4月の策定計画では、人口減によるごみ総量の減というところを大きな削減の要因でありまして、今回見直しの中では、食品ロスや適正分別による資源化率を上げていくということ、それぞれのごみの排出区分、燃やすごみの中に混ざっている資源ごみの量から、資源ごみに適正に分別されるごみの量を試算しながら、ごみ総量を試算するという考え方です。

平田委員

実際に目標値を見直す際には、一人1日あたりごみ排出量928g、一人1日あたり家庭系ごみ排出量497gが限界だろうということですか？

事務局

ごみの組成分析のところから、新たに資源化、減量できるところを項目別に分析を行いました。国の目標値に合わせた形で計画の目標値を設定することも可能ですが、現実的でない数字を出したところで意味はないという考え方で、現行の分別区分、それから燃やすごみの中に混入されている率から、実際にここまでなら市民の皆様にご協力をいただければ、分別ができるだろうというところを試算しています。

平田委員

平成 24 年度から平成 28 年度の実績から見直し案の基本計画の推計値を推計していますが、これは、大丈夫でしょうか。

事務局

平成 30 年度 4 月で人口減を主な要因と言いましたが、非常に緻密に試算をしていました。今回、中間見直しということで、見直し前の計画をさらに再資源化率を上げ、ごみの減量を図っていくためにどうすれば良いかというところを考えながらしましたので、当時の推計を活かしながらしています。

平田委員

分別についてですが、例えば自治会さんにご協力をいただければ、具体的な分別試験をされたりはしているのですか。

事務局

実際にモデル地区というようなものは、していません。家庭から出る一つのごみ袋の中に、どういったごみが混ざっているのかという、ごみの組成分析結果を基にしています。

平田委員

今後、国の目標値に近づけるという考えがあると思うのですが、現状分析をしながら市民の皆様にご協力を求めなければいけないと思います。本来ならば、推計する値でなく、具体的な値があると良いですが、今後は具体的な数値の把握の努力もお願いします。また、新型コロナの影響で外食が減って、家から出るごみが増えています。家庭系ごみの排出量が多くなっていますけれども、その中で家庭系ごみを減らしていくということについては、議論されていますか。

事務局

新型コロナウイルスの関係で、家庭での生活様式が変わってきているということは、認識をしています。それがごみの排出量やごみの性質、外食が減ってプラスチックごみが増えてきている、逆に生ごみが減ってきているということは、分析してみなければ分かりませんので、引き続き清掃課と取り組んでいきたいと考えます。

平田委員

似たような自治体さんがございましたら、そういったところの情報もあれば、参考にしたいです。

議長

よろしいですか。モデル地区の話もありましたが、他の委員の皆様はいかがですか。よろしいですか。

<意見なし>

それでは、質疑がないようですので、議事の議決につきましては、運営要綱の規定により、「出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。」となっています。それでは、事務局提案の中津市一般廃棄物処理基本計画の一部見直し（案）について、本案に賛成される方は挙手をお願いします。

<全員挙手>

賛成多数ですので、本案は承認されました。事務局は、ごみ減量・資源化の推進を行う上で大変重要な基本計画となりますので、本日の議論を踏まえ業務を進めていただくようお願いします。次の議事に入ります。3. ごみ減量・資源化の推進について（1）ごみ減量・資源化推進への取り組みについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

《 議事資料 3.ごみ減量・資源化の推進について（1）ごみ減量・資源化推進への取り組みについて説明（P5～P6上段3行目） 》

議長

それでは、（1）ごみ減量・資源化推進への取り組みについて、事務局より説明がありましたが、内容について質問のある方はいますか。一部は、昨年度の審議会でも審議した内容でありますけれども、委員の方々、質問はありませんか。

<意見なし>

それでは、引き続き事務局より、3. ごみ減量・資源化の推進について（2）ごみ減量・資源化推進の施策、①容器包装プラスチックの分別収集について、説明をお願いします。

事務局

《 議事資料 3. ごみ減量・資源化の推進について（2）ごみ減量・資源化推進の施策、①容器包装プラスチックの分別収集について説明（P6～P7） 》

議長

ありがとうございました。既にペットボトルの回収（ラベルをはがし、キャップを外して、中をすすいで出す）につきましては、順調に行われているようですし、かなり定着してきているのかなと思うところですが、新たに容器包装プラスチックの分別収集を中津市では実施していきたいという施策です。それについて、ご意見をいただきたいと思います。

平田委員

資源ごみで、容器包装プラスチックの分別収集を行うということで、約50%の回収を見込んでいるということで、目標が低いように感じますが、いかがでしょうか。

事務局

容器包装プラスチックの分別収集を開始した自治体の回収率を調べると、30%程度ということがあって、そういった実績を参考に今回50%という目標としました。

平田委員

今後、この割合は上げていくということでもよろしいですか。例えば大分市さんの場合になると、最初はきれいに洗って正しく分別して出すという方針でしたが、工場が発電している関係もあって、汚れたものは燃やすごみというふうに変わっていったのですが、基本的な方針は、出来る限りきれいに洗って出すという方針でもよろしいですか。

事務局

その方針で考えています。

平田委員

それと、容器包装プラスチックの処理委託料ですが、1 t 3万円ということで、マテリアルリサイクルが可能ないい状態の物をリサイクルするということだと思います。現状では、1 t 2万円程度で処理費が推移していると認識しているのですが、そのあたりの具体的な金額ということでしょうか。

事務局

実際に契約の段階であれば、下がることも考えられますが、事務局の考えとしましては、経費は甘く見積もらないという考えで、1 t 3万円で計上しています。

平田委員

わかりました。

高山委員

今回の容器包装プラスチックの分別収集の取組みについては、非常に良いと思います。今の委託料の話にもありましたが、これを行うことによって新たに3,600万円の市民負担が生じると思います。以前から思っていたのですが、容器包装リサイクル法の中で、そういった容器を製造する企業の負担があると思うのですが、中津市が今回、容器包装プラスチックの分別収集をするにあたり、国からの助成とかがあるのではないかと思うのですが、どうですか。

事務局

容器包装プラスチックのリサイクルにあたって、国からの助成というお話があったのですが、現時点では、確認出来ていません。

平山委員

プラスチックを削減して、中津市クリーンプラザで燃やさないという形で、CO₂を削減する。国レベルでは、削減したCO₂の量に応じてCO₂買取る取り組みをしていると思います。このような取り組みが、自治体間や国の中では、ないのでしょか。また、ごみを減量し、資源化を推進するという点では、ごみ袋有料化の点から考えると、プラスチック等のリサイクル可能な資源ごみについては無料として差別化を図ることが有効な手だと考えますがいかがでしょうか。

事務局

実際のCO₂の削減量に応じた自治体間の買取り制度は、今の時点では把握できていません。それと、ごみ袋の関係の意見については、後の項目で整理をさせていただきます。

議長

ほかに質問や意見のある委員はいますか。

水谷委員

プラスチックを回収するというのは、すごくいいことで、燃やすごみが少なくなるのかなと思っています。ただ、綺麗にして出すというと、かなり洗うことに水を使うんですね。主婦

の方は分かると思いますが、油分のついたトレーを綺麗にして出そうと思ったらかなり丁寧に洗わないといけないので水道水をかなり使います。それでもやるのか、それぐらいなら燃やすごみとして出した方がいいんじゃないかという思いもあります。

議長

貴重なご意見ありがとうございます。事務局はコメントがありますか。

事務局

資料に大分市のチラシをお借りしています。今お話があった、どこまでやるのかということに関しては、大分市の例で言いますと、汚れが落ちにくい資源プラの分別ということで、分かりやすいのはマヨネーズなどのチューブ類かと思いますが、こういった汚れの落ちにくいものは可燃物の日に出すと書かれています。色んな議論をいただく中で方向性は定めていきたいと思っております。リサイクル率をどうやって上げていくかということが一つの主眼となりますが、それが市民の皆さんの負担になる、あるいは違う面で環境負荷をかけてしまうということになると、本末転倒になってしまいますので、そこはバランスを見ながら考えていきたいと思っております。

平田委員

排水の負荷という点では、今の洗剤は洗浄力も高いですが、水への負荷も大きいです。基本的に油のついたものは、まず捨てる紙で拭いていただきたいと思っております。さらに、トレーなど油のついたプラスチックはなかなか落ちないのですが、実は捨てるラップで拭いていただきますと、プラスチック同士で汚れが移りますので、だいぶ綺麗になります。そのあたりの分別の仕方だとか講習の必要があればおっしゃっていただきたいと思っております。

議長

非常に貴重なご意見ありがとうございます。説明会などは計画されていますか。

事務局

はい、こういったことも含めて、基本方針としてまとめていきますので、その中で市民の皆様にご説明させていただきたいと思っております。

議長

ありがとうございます。他の委員の方どうぞ。

大坪委員

スーパーでのリサイクル回収ですが、先日大分市内の店舗を視察したところ、有料化後のリサイクル状況は、アルミ缶のリサイクル量は翌年度 120%と大幅に増えております。ただ、牛乳パックや食品トレーにおいては、昨年対比を大きく下回ったり、横ばいだったりという状況でした。何でそういうことになっているのかと考えたときに、アルミ缶はリサイクル対象として浸透しておりますので、リサイクル回収をしようという行動に結びつくのですが、容器包装プラスチックなど細かいものについてはまだ周知できていない結果なのかなと思っております。そこから2年後の2017年度を見てみますと、ようやくここで食品トレーや牛乳パックのリサイクル回収の持ち込み量が大きく増えています。やはり周知徹底していくための広報活動がポイントになってくるのかなと感じております。またイオン三光店のリサイクル回収の状況ですが、これも何となく浸透してきているように思われているかと思っておりますが、先ほどのリサイクル率のデ

一タを見ていただくと分かると思いますが、ほぼ横ばいなんですね。だからけっこうリサイクル回収が進んでいるという感覚がないというか、やはり回収に対する意識を広めていかなければならないと思っています。

7月1日からレジ袋の有料化が全国で始まりますが、私共は4月から先行して有料化を行っておりますので、その状況を報告いたします。約40%のレジ袋が削減されたということで、レジ袋を辞退される方がかなり増えています。有料化ということでリサイクルは進んでいくと思いますし、一方ではリサイクルしやすい環境を作っていくためにどうしたらいいかなということで、先ほど平山委員がおっしゃったように資源ごみを無償化することなども検討していく必要があるかと思っていますので、意見として述べさせていただきたいと思っています。

議長

実際のデータを含めた説明で、かなり参考になりました。ありがとうございます。
他の委員の方、何かありましたらぜひ。新しいことですので。

<意見なし>

いただいた意見につきましては、次回事務局よりまたご説明いただいて、ご理解いただきたいと思っています。それでは、議事①容器包装プラスチックの分別収集について、賛成をされる委員の方はご挙手をお願いいたします。

<全員挙手>

はい、全員が挙手ということで確認いたしました。

事務局は、承認されましたのでごみ減量・資源化の推進を行う上で大変重要な施策となりますので、市民への普及などを含めて、事務局は業務を進めていただくようお願いいたします。

それでは次に参りたいと思います。3. ごみ減量・資源化の推進について(2) ごみ減量・資源化推進の施策、②生ごみ減量支援施策について、事務局より説明をお願いします。

事務局

≪ 議事資料 3. ごみ減量・資源化の推進について(2) ごみ減量・資源化推進の施策、②生ごみ減量支援施策について説明(P8) ≫

議長

ありがとうございます。委員の方、何かありましたら挙手をお願いします。

(溝口委員を見て)今キエーロをお使いでしたかね。

溝口委員

キエーロを使わせていただいて、今現在(生ごみを入れる場所を順番に)回しながら使っているのですが、サイズが小さくなると、処理に時間がかかってしまうイメージがあります。小さくするというのはいいと思いますが、やり方を検討して広めた方がいいと思います。

あと、私はキエーロの市民モニター募集ということで応募させてもらったのですが、他にもコンポストの助成金などが市報に載っていたりするんですけど、助成金だとちょっと高いなと思ってなかなか手が出なかったところでのモニターだったので、これがまた販売となるとなかなか値段などが難しいのかなと思ってしまいました。

議長

ありがとうございます。事務局としては金額的なイメージはどうですか。まだ決定ではないと思いますが、イメージとしてはどうでしょうか。

事務局

それにつきましては、たくさんご意見をお聞きしたいと思っております。使用感、費用の面でも、どのくらいなら負担してもいいのかなど、幅広くご意見をお聞きしながら考えていきたいと思いますし、当然先ほどの容器包装プラスチックの分別回収もそうですが、市の方が予算を必要とすることになりますから、議会の方にお諮りして議決いただくという手続きが必要となりますので、価格の設定やサイズも含めて、丁寧に進めていきたいと思っております。

サイズを複数というのは、お庭のあるようなご家庭は今のサイズで十分置けると思いますが、例えばマンションやアパートなど置く場所がないけれど使いたいという方がいらっしゃるのであれば、ベランダなどにも置けるサイズで、作れないかということで考えました。溝口委員がおっしゃったように、小さいサイズにしたときに、実際処理ができるのかということは実証実験をやりながら試してもらえればと思います。価格については、今具体的にこのぐらいというのは事務局では持っていないです。

議長

ありがとうございます。12月に見学をした際に、中津の間伐材なども有効な資源だと思っておりますので、活用につながるという勝手に思った次第でございます。

平田委員

申し訳ないのですが、私共は段ボールコンポストをお勧めしているのですが、そこと競合しませんか。

事務局

生ごみの堆肥化、減量化につきましては、委員がおっしゃったようにプラスチックのコンポストと段ボールコンポストの大きく2つが実際に施策として実施しており、キエーロは実証の段階です。それぞれに使い方を含めて特長があると思います。選択肢としてはできるだけたくさんあるといいと思いますが、実際に使っていただく方の声をお聞きしながら、集約していくのか、同時並行でやっていくのかということも含めて今後検討していきたいと思っております。

議長

ありがとうございます。中津市の特徴を出したものができるといいなと市民としては思います。

平野委員

前回キエーロについてお聞きしたところ、「今日はここ、明日はここ」というように順番に入れていくといいと聞きましたので、広いお庭があるところは大きい方が助かると思います。小さくするのは場所がないからということですよ。小さくすると食べた後の生ごみぐらいの量じゃないと、色々入れたら消えないと思うんですよ。

私は以前市の補助がついて何万円かする電気式のコンポストを使ったことがあるのですが、そこに入れるまでに、水気を切って、分量はこれぐらいとかあって、電気のスイッチを入れたら1時間ぐらいかかって、あんまりだなと思っていたら、平成24年の九州北部豪雨で流されてしまっただけにいったか分からなくなったということもありました。生ごみを処理するということは時間と手間がかかるなと思います。今はコンポストを使っているんですけど、調理前の野菜くずまで入れていたら入らないし、なかなか難しいなと感じております。

議長

ありがとうございました。

平田委員

一概にサイズが大きなものの方がいいとは言えません。一つは乾燥によって減量化するのですが、そこに実は菌が働いておりまして、菌は熱を出します。これが広いと熱が上がらないんです。ですからある程度小さい方がかえって効率が上がるということもあります。なかなか難しいんですけれども。

議長

専門的な観点からご意見ありがとうございました。

水谷委員

12月に見せていただいたときに、帰りまして周りの人に話したら、すごい関心があるんですね。ですからもしよろしければそれぞれ地域に持っていただいて、見せていただくといいかなと思います。「消える」というのが化学なんでしょうけれど、すごく関心がありますのでよろしくお願いいたします。

伊藤委員

私も今朝キエーロの中に生ごみを入れてきました。今日で使用して81日目です。だいたい1回に3kgを、6か所に順番に名札に日にちを入れてやっています。81日で約250kgの生ごみが、平田先生がおっしゃったように、土が増えることもなく、きれいに水蒸気に分解されています。油も魚も全て処理ができています。私は不思議でたまりませんが、臭いもありません。熱もあって、土はパラパラになっております。台所に生ごみを入れる容器があります。生ごみが2～3kg入る容器に、調理しながら中に入れていきます。水分を切る必要もありません。その水分が非常に分解の役に立ちますので、スコップで掘って細かく刻むと、4日で生ごみが消えております。

議長

ありがとうございます。他に意見のある方。

議事が残っておりますので、まだまだご意見があるかと思いますが、生ごみキエーロ普及促進施策を推進していくということについて、賛成される方、挙手をお願いします。

<全員挙手>

全会一致ということで確認いたしました。承認されましたので、事務局は、さらに先ほどの意見を踏まえまして、推進施策をお願いいたします。

次の議題に入ります。3. ごみ減量・資源化の推進について(2) ごみ減量・資源化推進の施策、③ごみ袋の有料化の導入についての説明を事務局よりお願いします。

事務局

≪ 議事資料 3. ごみ減量・資源化の推進について(2) ごみ減量・資源化推進の施策、③ごみ袋の有料化の導入について説明(P9～P13) ≫

議長

ごみ減量・資源化の一環としてと、市長から諮問がありましたように、ごみ袋を有料化した場合にどうなるのか、概要について事務局から説明がありましたが、これに対して何か質問はありますでしょうか。

平田委員

P11の表に「容器包装プラスチック」が入っていないが、どういうことでしょうか。

事務局

P11の表は現時点での収集区分となっています。容器包装プラスチックの分別収集は実施が決まっているわけではありませんので、この表には入っていません。

平田委員

容器包装プラスチックは無料でという考えが良いと思います。では、剪定枝についてはどうふうにお考えでしょうか。

事務局

剪定枝木は、今持ち込みをしていただいているものについてはリサイクルができていますが、ステーションに排出される剪定枝木は、燃やすごみとして焼却されています。これらを資源として回収するということになると経費がかかるということになります。

平田委員

大分市の場合は、剪定枝は無料で、燃やすごみの日に出しています。また、剪定枝を袋に入れて出そうとすると絶対に破れます。

議長

今日は全般的な説明になっていますが、他に何かありますか。

高山委員

第2回目は7月中旬頃予定しているとのことだが、審議会として今回諮問を受けて、いつまでに結論、方向性を決定しないといけないのか。

事務局

いつまでという期限は特に設定していません。というのは、ごみ減量・資源化施策にかかる議論は、ごみ袋の有料化だけでなく、先ほどご審議いただいた容器包装プラスチックの分別収集、生ごみキエーロ普及促進などもまだ議論が必要であり、それ以外の施策についても検討しなければならないものがたくさんあります。それらすべてを総括しながら進めていきたいということで考えています。

特にごみ袋の有料化を審議していただくにあたっては、種類、袋のサイズなど段階的にクリアしていかなければならないものがあり、審議会ですべて議論を尽くしていただいて、導入の是非を含めて、答申としてまとめていただきたいと思いますと考えていますので、期限は設けておりません。ただ、有料化の議論をしていくなかで、例えば、審議会から資源化施策などで有料化よりも先行して実施すべきだというご意見ができれば、それについては先行して取り組むことも併せて考えていきたいと思っています。

いつまでという期限はありませんが、今後のごみ減量・資源化など中津市全体のことを考えると、ごみ減量・資源化施策についてできるだけ早く着手できればと考えています。

議長

諮問書には、期限は定められておらず、市長からもじっくり審議をしてくださいという話もあ

りました。急いで結論を、ということではなく、市民の皆さまのご理解を得て進めていきたいという意向のようでございますので、審議会でもじっくり審議していきたいと考えています。本議案はごみ袋有料化の方向性を審議していく議事であり、議決すべき内容ではないので、採決は省略させていただきたいと思いますが、委員のみなさまよろしいでしょうか。

委員一同

はい。

議長

それでは、本議案について採決は省略させていただきます。

委員のみなさまに、10ℓ、20ℓ、30ℓ、40ℓの4種類の袋が配布されていますので、お試ししていただき、大きさ等を確認いただければと思います。

それでは、最後に、4.第2回中津市廃棄物減量等推進審議会について、事務局より説明をお願いします。

事務局

〈 議事資料 4.第2回中津市廃棄物減量等推進審議会について説明（P23） 〉

議長

それではすべての議事が終了しましたので、議長を退任させていただきます。議事の進行のご協力ありがとうございました。

事務局

室長会長、議事の進行たいへんありがとうございました。委員のみなさまもご意見をたくさんいただきありがとうございました。

それでは閉会の挨拶を部長の今富が申し上げます。

今富生活保健部長

委員のみなさま、活発なご意見たいへんありがとうございます。本日の審議会で、ごみ減量・資源化推進の施策として、容器包装プラスチックの分別収集の開始、生ごみキエーロの普及促進について、具体的な方向性を示していただきました。今後またごみ減量・資源化施策の具体的な取り組みなど継続してご審議をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

審議会の資料や議事録につきましては、ホームページに掲載して市民のみなさまに公表させていただいて、具体的な施策の検討の経過を広く市民の皆さまに知っていただくよう努めてまいります。

第2回は7月中旬を予定していますので、よろしく申し上げます。

以上をもちまして令和2年度第1回中津市廃棄物減量等推進審議会を終了します。

ありがとうございました。

12：00 審議会終了